

関学大生協と地元漁協のコラボメニュー 「LOVE SEA丼」 ホテルイカが6月28日(火)から登場!

関西学院大学生協同組合が地元の漁協と協力して取り組むコラボ企画「LOVE SEA丼」にホテルイカを使ったメニューが登場する。今回は、6月28日(火)からの3日間。

この取り組みは、関西学院大学生協と摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会が、若い世代に地元・兵庫県の水産物の魅力を知ってもらうことを目的に2013年から開始。毎回、瞬く間に完売する人気企画だ。

今回は、ほたるいかを使用し、28日に「ほたるいか丼(税込390円)」、29、30日に「ほたるいかカレーピラフ(税込420円)」が提供される。



6/22(水)～留学生ウィークを開催

※5/27発行(No. 852)でお知らせした「留学生ウィーク(6/6～)」は、都合により下記の期間に延期して実施します。

～第10回 留学生WEEK～

■期間・場所:

2016年6月22日(水)～28日(火)、西宮上ヶ原キャンパス
<Cool Japanトークショー in Japanese>

■日時:2016年6月22日(水)13時30分～15時

■場所:G号館フジタ・グローバルラウンジ

<日本語スピーチ発表会>

■日時:2016年6月24日(金)9時～12時40分

■場所:社会学部チャペル

<縁日(夏祭り)>

■日時:2016年6月28日(火)13時30分～16時40分

■場所:G号館フジタ・グローバルラウンジ

<コーヒーアワー>

■日時:2016年6月28日(火)17時15分～18時30分

■場所:関学会館

本資料に関する報道関係者からの問い合わせは関西学院
広報室(TEL:0798・54・6017)までお願いします。

女子サッカーで デフリンピック目指す



サッカー部女子の宮田夏実さん(商学部1年)は、トルコで2017年7月に開かれる聴覚障がい者の五輪「デフリンピック」のデフサッカー日本代表候補に選ばれた。



前回のブルガリア大会(2013年)でも代表を経験。5月3日から5日まで岡山県であった代表選考合宿に参加し、改めて大会に向けて意気込んでいる。

デフサッカーは、審判のさまざまな合図が笛ではなく、フラッグで示される以外、普通のサッカーと同じだ。

生まれつき耳が不自由な宮田さんは、同様に聴覚に障がいがある5歳上の兄の影響で、小学1年の時からデフサッカーのクラブチームで活動を始めた。中学では学校のサッカー部に所属し、男子部員にも交じって練習を重ね、3年になると試合に出られるようになった。そんななか、当時、トルコで開かれたデフサッカーの世界カップのメンバーに選ばれ、全試合に出場。「世界の舞台に立てたことがとても楽しかった」と振り返る。

高校入学後は女子サッカー部に所属。ポジションはフォワードの左下ハーフ、ボランチなどを務めた。勉強のかたわら、クラブ活動に励む毎日続け、1年の時にデフリンピックの日本代表に選ばれた。

ふだんは大学のサッカー部女子で健常者と一緒に練習や試合をこなしながら、最終選考の結果を待つ。「サッカーが好き。それだけの理由で続けています。続けなければ続けるほど、サッカーという競技に魅了されています。勉強との両立は大変だと思うこともあるけれど、好きだからこそ続けられたと実感します。デフリンピックのメンバーに選ばれるようがんばりたい」と意気込む。

